

9 収入状況について（税込み）

(1) 給水収益等の収入状況

給水収益現年度分の収入率は、水道事業が98.3%、鶴形簡易水道事業が99.4%となっている。前年度と比較すると、水道事業は0.2ポイント、鶴形簡易水道事業は1.1ポイント上回っている。

水道事業の給水収益繰越分の未収入額は9,553,807円で、前年度と比較すると974,190円の増となり、年々増加している。また、不納欠損処分後の調定額25,568,550円に対する収入率は62.6%で、前年度と比較すると5.0ポイント下回っている。

鶴形簡易水道事業の給水収益繰越分の収入率は100.0%で、未収入額はない。

収入状況の内訳は、次のとおりである。

(単位：円、%)

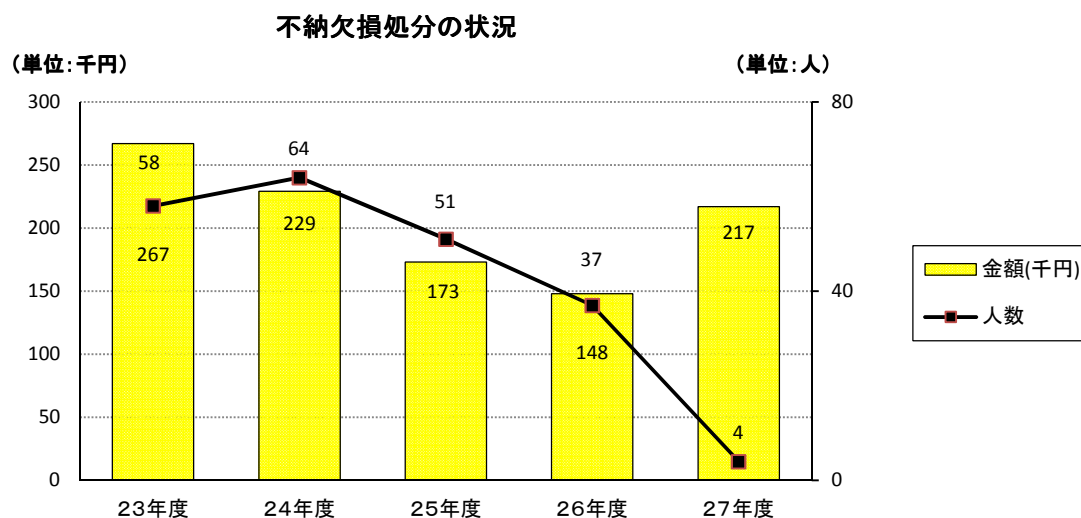
区 分			調定額	不納欠損額	差引調定額	収入額	未収入額	収入率
現年度分	水道事業	営業収益	978,249,186	0	978,249,186	960,310,806	17,938,380	98.2
		給水収益	916,996,480	0	916,996,480	901,795,446	15,201,034	98.3
		その他の営業収益	61,252,706	0	61,252,706	58,515,360	2,737,346	95.5
		営業外収益	150,646,717	0	150,646,717	149,950,717	696,000	99.5
		計	1,128,895,903	0	1,128,895,903	1,110,261,523	18,634,380	98.3
	鶴形簡易水道事業	営業収益	8,027,794	0	8,027,794	7,977,848	49,946	99.4
		給水収益	8,015,489	0	8,015,489	7,967,848	47,641	99.4
		その他の営業収益	12,305	0	12,305	10,000	2,305	81.3
		営業外収益	1,656,315	0	1,656,315	1,656,314	1	99.9
		計	9,684,109	0	9,684,109	9,634,162	49,947	99.5
	小 計		1,138,580,012	0	1,138,580,012	1,119,895,685	18,684,327	98.4
繰越分	水道事業	営業収益	28,558,444	217,427	28,341,017	18,787,210	9,553,807	66.3
		給水収益	25,785,977	217,427	25,568,550	16,014,743	9,553,807	62.6
		その他の営業収益	2,772,467	0	2,772,467	2,772,467	0	100.0
		営業外収益	805,000	0	805,000	805,000	0	100.0
		計	29,363,444	217,427	29,146,017	19,592,210	9,553,807	67.2
	鶴形簡易水道事業	営業収益	134,451	0	134,451	134,451	0	100.0
		給水収益	134,451	0	134,451	134,451	0	100.0
		営業外収益	0	0	0	0	—	—
		計	134,451	0	134,451	134,451	0	100.0
	小 計		29,497,895	217,427	29,280,468	19,726,661	9,553,807	67.4
	合 計		1,168,077,907	217,427	1,167,860,480	1,139,622,346	28,238,134	97.6

(2) 不納欠損の状況

不納欠損処分額は217,427円で、前年度と比較して68,849円（46.3％）の増となっており、いずれも水道事業分である。対象者は4人（うち法人2社）で、前年度と比較して33人の減となっている。

不納欠損の理由は、所在不明1人、個人破産1人、倒産1社、会社更生1社となっている。

不納欠損の推移は、次のグラフのとおりである。



10 補てん財源について（税込み）

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額（差引決算額）420,857,759円は、損益勘定の現金支出を伴わない費用である減価償却費等や減債積立金等の内部留保資金で補てんされる。

補てん財源は、水道事業及び鶴形簡易水道事業ごとに管理され、内訳は次のとおりである。

（単位：円）

区 分		補てん財源額	補てん額	残 額
水道事業	減 債 積 立 金	165,553,096	165,553,096	0
	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	17,663,178	17,663,178	0
	過年度分損益勘定留保資金	68,804,142	68,804,142	0
	当年度分損益勘定留保資金	281,840,817	167,332,377	114,508,440
	減 価 償 却 費	427,790,402		
	資 産 減 耗 費	2,429,517		
	長 期 前 受 金 戻 入	-148,379,102		
	当年度分未処分利益剰余金	260,021,318	0	260,021,318
計		793,882,551	419,352,793	374,529,758
鶴形簡易水道事業	減 債 積 立 金	970,648	970,648	0
	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	770,240	534,318	235,922
	過年度分損益勘定留保資金	5,189,891	0	5,189,891
	当年度分損益勘定留保資金	2,801,111	0	2,801,111
	減 価 償 却 費	3,504,681		
	資 産 減 耗 費	0		
	長 期 前 受 金 戻 入	-703,570		
	当年度分未処分利益剰余金	5,979,845	0	5,979,845
計		15,711,735	1,504,966	14,206,769
合 計	減 債 積 立 金	166,523,744	166,523,744	0
	当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	18,433,418	18,197,496	235,922
	過年度分損益勘定留保資金	73,994,033	68,804,142	5,189,891
	当年度分損益勘定留保資金	284,641,928	167,332,377	117,309,551
	減 価 償 却 費	431,295,083		
	資 産 減 耗 費	2,429,517		
	長 期 前 受 金 戻 入	-149,082,672		
	当年度分未処分利益剰余金	266,001,163	0	266,001,163
計		809,594,286	420,857,759	388,736,527

上記の表にある補てん財源は、上から順に補てん財源として使用することになっており、当該年度で補てんに使用する額が補てん財源額を下回り、残った場合は翌年度に過年度分として使用することができるものである。本年度は、補てん財源額が809,594,286円に対し、資本的収支の不足額は420,857,759円であり、残り388,736,527円が翌年度へ繰り越されることになる。

11 予算議決事項について（税込み）

予算第5条企業債、第6条一時借入金、第8条議会の議決を経なければ流用することができない経費、第9条他会計からの補助金、第11条たな卸資産の購入限度額については、いずれも議決されたところに従って適正に執行されている。

（単位：円）

区 分	議 決 額	執 行 額	比 較 増 減
企 業 債	235,500,000	235,500,000	0
一 時 借 入 金	170,000,000	0	-170,000,000
職 員 給 与 費	74,325,000	74,162,574	-162,426
他 会 計 補 助 金	10,350,000	10,229,924	-120,076
た な 卸 資 産	5,303,000	5,295,106	-7,894